

横田基地もいない市民交流集会（鉾杉 11 月号より）

10月8日に開催された横田基地もいない市民交流集会は、全体の参加は700人超。西多摩支部からは10人の参加でした。

午前中は映画「沖縄の闘い」の上映と新垣毅氏（琉球新報社）の講演、午後は「危険度を増す横田基地の現状」についての報告がありました。



新垣氏は、東村高江の新ヘリパッド建設問題で、これによって、北部訓練場の半分を返還するとしているが、米軍としてはもともと使用不能だから返還するのであり、新ヘリパッドをつくるのが条件になっている。ヘリパッドは6ヶ所作る計画で、すでに2ヶ所が完成している。広い地域を使って、本国ではできない訓練をするのが目的で、オスプレイの飛来については、東村の村長も反対であることが話されました。

市民からの発言では、武蔵村山の中学校で米軍がほふく前進や顔にドーランを塗るなど、新兵訓練を行ったことについて報告があり、米軍のホームページに生徒の名前や写真、学校名入りで掲載されていたことに驚き、2度とこのようなことをするなど運動を続けていることや、大事に守られてきた目に見えない平和を伝えていきたいと発言がありました。